

1. 理事会からのお知らせ

(1) 代表理事挨拶

TCER フェローおよび関係者の皆様方には日頃より TCER の活動にご支援とご協力をいただきまして、心よりお礼申し上げます。昨年6月より、代表理事代理業務執行理事の祝迫得夫一橋大学教授と会計・研究会担当業務執行理事の大橋和彦一橋大学教授とともに TCER の執行部として TCER の運営に携わっております。2月4日の理事会と3月6日の評議員会において 2019 年度の事業計画と事業予算書を承認いただきましたので、これらをご説明することによって代表理事の挨拶に代えたいと存じます。

先ず、NBER と CPER と共同して TCER が開催してきました TRIO コンファレンスにつきまして、7月27日に東京大学で「Financial System」をメインテーマにして開催されます。TCER からは植田健一東京大学准教授がオーガナイザーとなります。報告論文は国際学術誌 Journal of the Japanese and International Economies (JJIE)に刊行されることになっています。

次に、TCER コンファレンス（旧逗子コンファレンス）については、2017・2018 年度に取り組まれた「EBPM の経済学：エビデンスに基づく政策立案の展望」というメインテーマの下の共同研究の研究成果が、2019 年度に東京大学出版会から「EBPM の経済学（仮題）」というタイトルの書籍として出版されます。また、2019 年度からは2か年計画で「金融の『大転換』と日本の金融システムの未来（仮題）」というメインテーマの下で祝迫得夫一橋大学教授が中心となって新しい共同研究が始まります。

さらに、TCER=ERIA 出版事業では、ERIA（東アジア・アセアン経済研究センター）の委託を受け、木村福成慶應義塾大学教授と浦田秀次郎早稲田大学教授が中心に「東アジアの経済統合」と題する10冊シリーズの書籍を出版する事業を進めています。2016 年度から毎年度に1冊ずつ、第7巻『ASEAN の自動車産業』、第6巻『タイ・プラスワンの企業戦略』、第1巻『アセアンライジング』が出版されてきました。2019 年度には4冊目の第2巻『アジア総合開発計画：物的インフラ整備』が出版されます。

他に、太平洋地域研究交流事業として Asia-Pacific Economic Association (APEA) コンファレンスが8月1日・2日に福岡大学で開催されます。佐々木百合明治学院大学教授が日本側のオーガナイザーを務められます。今年度は日本で開催されることから予算額を増やして支援をいたします。また、今年度に限られたものですが、若手研究者育成支援事業の新しい事業として The 7th Econometric Society Summer School を支援いたします。これは、Econometric Society が8月6日～10日に北海道大学で大学院生を対象として開催する Summer School です。

TCER は、引き続き、経済学のアプローチから世界経済及び日本経済が直面する諸課題及び経済政策による対応について、研究を行い、その研究成果を知見として蓄積し、世界経済及び日本経済の問題解決に貢献することをめざして、活動していく所存でござ

います。皆様におかれましては、引き続き TCER の活動にご支援、ご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

小川英治（代表理事・一橋大学）

（２）2018年度後半の理事会報告

2018 年度第 2 回理事会は、2019 年 2 月 4 日（月）15 時 00 分～16 時 40 分、東京経済研究センター事務所において開催されました。平成 31 年度の事業計画書及び平成 31 年度の予算書が承認されました。寄附者が用途を特定していない寄附金について、公益目的の事業に要する経費に充てる割合、平成 31 年度投資方針書についても承認されました。評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について原案が提示され承認されました。

小川英治代表理事より、小林喜光評議員と横尾敬介評議員より 2019 年 4 月 26 日をもって評議員を辞任する旨申し出があったことが説明され、後任の評議員を選定するために 5 名の評議員選定委員が選定され、評議員選定委員会を招集することが承認されました。そして、櫻田謙悟氏（SOMPO ホールディングス株式会社・グループ CEO 取締役社長）ならびに橋本圭一郎氏（塩屋土地株式会社・取締役副会長）を後任の評議員候補者として推薦することも承認されました。

また、2 名の新規フェローの入会も承認されました。パート事務局員就業規則の改訂については議決保留とする提案があり了承され、代表権のない理事の呼称の変更について承認されました。最後に、報告事項として、本年度の事業の執行状況について説明がありました。

（３）2018年度後半の評議員会報告

2018 年度第 2 回評議員会は、2018 年 3 月 6 日（水）16 時 00 分～16 時 55 分、日本工業倶楽部で開催されました。平成 31 年度の事業計画書及び平成 31 年度の予算書が承認されました。

（４）所属先変更のご連絡のお願い

今年度中に所属先が変更になった方、新年度から変更になる方は、お手数をおかけしますが、TCER 事務局（tcer@mbs.sphere.ne.jp）までご連絡下さい。また、メールアドレスの変更を希望なされるフェローも同様に事務局までご連絡ください。

必要事項は、氏名（フリガナ）、所属先、所属先住所（郵便番号）、電話番号、メールアドレスとなります。

(5) 2019年度研究助成のお知らせ（フェロー以外も応募可能）

TCERでは、毎年、個人研究助成を行っています。日本国内の経済学研究者であれば、TCERフェローに限らずどなたでも応募することができます。（<http://tcer.or.jp/>）

本制度設立の趣旨：本研究助成制度は、TCERフェローを含む若手研究者の個人及び相互による経済学に関わる理論・実証面での萌芽的研究を支援することを目的としています。

応募資格：日本国内の大学および研究機関に所属する経済学研究者。ただし、同一テーマで過去3年以内に助成を受けた方（共同研究者である場合も含む）は応募できません。

助成対象期間：2019年6月～2020年3月

報告義務：2020年3月末までに所定の様式に従って研究成果報告書を提出するとともに、研究成果を東京経済研究センターワーキング・ペーパーとしてまとめます。これはRePEc Archivesにも掲載されます（なお研究成果の提出は2021年3月末まで延長できます）。

助成金額：1件当たり最高40万円

応募締め切り：2019年5月7日（火）午前9時

応募用紙：応募用紙（<http://tcer.or.jp/>）からダウンロード可）を入力し、Wordファイルをメールに添付して提出

応募先：TCER事務局Eメールアドレス（tcer@mbs.sphere.ne.jp）

2. コンファレンスご案内・報告

公1 国際的学術研究・交流事業

(1) 2018年度環太平洋地域研究交流事業「アジア危機コンファレンス」報告

2018年度環太平洋地域研究交流事業「アジア危機コンファレンス」は、2018年8月3日・4日に米国南カリフォルニア大学（the University of Southern California, Los Angeles, USA）で開催されたAPEAコンファレンスの一環として行われました。TCERは重要なスポンサーとして会合をサポートし、アジア環太平洋地域が抱える諸問題について、最近の理論分析の紹介や、国際貿易、国際金融、マクロ経済学、開発経済学などさまざまな観点から関連テーマに関して議論を行う場を提供しました。

コンファレンスには、アジア太平洋諸国の研究者を中心に世界各国から約100名の経済学者が参加し、多数の平行・セッションで重要な政策的課題を経済学の観点から活発に議論・研究交流が展開され、大変有益でした。TCERからは、代表理事の小川英治（一橋大学）をはじめ、福田慎一（東京大学）、櫻川昌哉（慶應義塾大学）、宮川努（学習院大学）、戸村肇（早稲田大学）、竹田陽介（上智大学）、佐々木百合（明治学院大学）、

玉井義郎（神奈川大学）、大野早苗（武蔵大学）、田中茉莉子（武蔵野大学）らが参加し、研究報告および討論を行うと同時に、各セッションの座長を担当しました。

Plenary Session では、サンフランシスコ連邦準備銀行の副総裁・Mark Spiegel 氏が“Global evidence on bank performances under negative interest rates”と題して、マイナス金利が銀行経営に与えた影響を国際比較の観点から多角的に論じました。Spiegel 氏による招待講演は、近年の金融政策が抱える現状を鋭く分析したもので、参加者から評価を受けました。

（２）TCER=TIFOフェローシップ事業報告

本フェローシップは、東南アジアの研究者と日本の経済学研究者との間での日本を含めた経済問題に関する共同研究を促進することを目的とし、公益財団法人東芝国際交流財団からの助成を受けて、東南アジアに本拠を置くもしくは東南アジア出身の経済学研究者を日本に呼び寄せる資金を提供するもので、2013年度に開始された事業です。

2019年度分は2件の応募があり、2件とも助成が決まりました。

①受給者: 佐藤愛氏（神戸大学）

テーマ: 企業投資に与える銀行のシステミック・リスクの影響と企業のキャッシュ保有との関係

共同研究者: Chaiporn Vithessonthi（チャイポン ヴィテソンチ）氏

（Sunway University Business School, Sunway University, Professor）

②受給者: 小原美紀氏（大阪大学）

テーマ: バブル期以降の日本の貧困の研究

共同研究者: 藤井朋樹氏

（シンガポール経営大学経済学部准教授兼副学部長（学部課程担当））

公２ 学術研究交流促進事業

（１）ミクロ経済分析事業（2018年度 DC コンファレンスとの共同開催）報告

第24回DCコンファレンスは、2018年9月7日（金）に早稲田大学早稲田キャンパスにて行われました。コンファレンスは、11本の投稿論文報告と招待講演によって構成されました。投稿論文の報告は、(1) 10時00分から11時40分、(2) 13時00分から14時40分、(3) 15時00分から16時40分、の3つの時間帯に分かれ、並行して二つのセッションが行われました。招待講演は、室岡武志氏（大阪大学）による行動経済学に基づく産業組織論に関する研究報告が17時00分から18時00分まで行われました。参加者数は約40名で、どの報告に対しても活発な議論が繰り広げられ、大変有意義なコンファレンスとなりました。なお、本コンファレンスのプログラム委員ならびにプログラ

ムは以下のとおりでした。

プログラム委員: 石川竜一郎 (早稲田大学・オーガナイザー)、梶井厚志 (京都大学)、
篠潤之介 (早稲田大学・オーガナイザー)、関口格 (京都大学)、水上英貴 (青山学院
大学)、宮城島要 (青山学院大学)

プログラム :

時間帯	--	02室	03室
10:00-10:50	Session 1	平井俊行 (富山大学) "Farsighted Stability in a Patent Licensing Game"	<u>多鹿智哉 (一橋大学)</u> "Collective mistakes: Intuition aggregation for a trick question under strategic voting"
10:50-11:40		<u>渡邊直樹 (慶應義塾大学)</u> "A School Choice Experiment: Cognitive Ability and Information"	<u>笠松怜史 (東京大学大学院)</u> "When Populism Meets Globalization: Analysis of Tax Competition"
11:40-13:00	昼休み		
13:00-13:50	Session 2	<u>水忠晃 (京都大学大学院)</u> "Degree-K subgame perfect equilibria and the folk theorem"	<u>細矢祐誉 (関東学院大)</u> "Shephard's Lemma as a Partial Differential Equation"
13:50-14:40		<u>関口格 (京都大学)</u> "Efficient Collusion with Entry and Cost Uncertainty"	<u>木下富夫 (武蔵大学)</u> "An estimation of wage rate elasticity of supply of working hours based on hedonic wage model."
14:40-15:00	Break		
15:00-15:50	Session 3	<u>三浦慎太郎 (神奈川大学)</u> "Prudence in Persuasion"	<u>井上朋紀 (明治大学)</u> "Core Convergence Theorems for Economies with Bads"
15:50-16:40		<u>金子守 (早稲田大学)</u> "Majority Decision Rules with Minority Protections: Cost Allocations for Public Projects"	--
17:00-18:00	招待講演	室岡健志 (大阪大学) Profitable Deception in Competitive Markets 司会 : 石川竜一郎	--

(2) マクロ経済分析事業 (2018年度 TCER マクロコンファレンス) 報告

第20回TCERマクロコンファレンスは、2018年11月17日、18日に一橋大学国立キャンパス・マーキュリータワー会議室において開催され、約50名の内外の研究者が参加しました。例年通り、論文は国際公募を行い、プログラムコミッティにより選ばれた9本の論文が報告されました。プログラムは以下のとおりでした。

開催日：2018年11月17日（土）、18日（日）

場所：一橋大学国立キャンパス・マーキュリータワー7階 会議室

代表兼プログラム委員：櫻川昌哉（慶應義塾大学）、塩路悦朗（一橋大学）、敦賀貴之（大阪大学）、渡辺努（東京大学）

運営委員：塩路悦朗（兼任）、陣内了（一橋大学）

主催：東京経済研究センター、大阪大学社会経済研究所（科研S）、慶應義塾大学経済学部、東京大学金融教育研究センター、一橋大学経済研究所経済社会リスク研究機構

プログラム：

11月17日（土）

12:20 開場・受付開始

12:55 開会の辞 渡辺努（東京大学）

第1セッション：座長 加納隆（一橋大学）

13:00-14:10 浜野正樹（早稲田大学）“Monetary Policy and Heterogeneous Plants”(Francesco Zanetti との共著)

討論者：坂根みちる（上智大学）

若手セッション（1）：座長 敦賀貴之（大阪大学）

14:10-14:55 庄司俊章（東京大学）“Menu Costs and Information Rigidity: Evidence from the Consumption Tax Hike in Japan”

討論者なし

14:55-15:30 コーヒーブレイク

第2セッション：座長 渡辺努（東京大学）

15:30-16:40 嶺山友秀（日本銀行）“Downward Nominal Wage Rigidity and Inflation Dynamics during and after the Great Recession”

討論者：西山慎一（神戸大学）

16:40-17:50 藤木裕（中央大学）“Cash Usage Trends in Japan: Evidence Using Aggregate and Household Survey Data”

討論者：中島清貴（甲南大学）

18:20- ディスカッション、第1日目の総括

11月18日 (日)

第3セッション：座長 塩路悦朗 (一橋大学)

9:40-10:50 池田大輔 (日本銀行) “Bank Runs, Prudential Tools and Social Welfare in a Global Game General Equilibrium Model” (英語による報告)

討論者：佐藤佑己 (慶応義塾大学)

10:50-12:00 宮本亘 (香港大学) “International Linkages and the Changing Nature of International Business Cycles” (Thuy Lan Nguyen との共著) (英語による報告)

討論者：Konstantin Kucheryavy (University of Tokyo)

12:00-13:30 ディスカッション

若手セッション (2)：座長 敦賀貴之 (大阪大学)

13:30-14:15 高橋悠太 (一橋大学) “Layoff risk, the welfare cost of business cycles, and monetary policy” (Ian Dew-Becker, David Berger, Lawrence Schmidtとの共著) (英語による報告)

討論者なし

第4セッション：座長 櫻川昌哉 (慶應義塾大学)

14:15-15:25 高橋耕史 (日本銀行) “Do Term Premiums Matter? Transmission via Exchange Rate Dynamics” (Mitsuru Katagiriとの共著)

討論者：岩壺健太郎 (神戸大学)

15:25-16:00 コーヒーブレイク

16:00-17:10 田中万理 (一橋大学) “Firm Performance and Macro Forecast Accuracy” (Nicholas Bloom, Joel M. David, Maiko Kogaとの共著)

討論者：鈴木通雄 (東北大学)

17:10 閉会の辞 塩路悦朗 (一橋大学)

(3) 若手研究者育成支援事業 (国際貿易ジュニア・ワークショップ) お知らせ

東京経済研究センター (TCER) では、将来を担う若手研究者の研究に対して最先端の研究者が建設的なコメントを行うことで、若手研究者の研究の向上とネットワーク形成を図ることを目的に、国際貿易ジュニア・ワークショップを以下のとおり開催いたします。なお、報告者の募集は2019年1月6日(日)に締め切りました。

開催日：2019年3月19日(火)

会場：一橋大学国立キャンパス

分野：国際貿易と関連分野の理論および実証研究

対象：大学院生および博士号取得後5年以内の若手研究者

報告言語：英語

組織委員：石川城太・手島健介・杉田洋一（すべて一橋大学）

共催：東京経済研究センター、科学研究費補助金基盤(S) 「グローバル経済におけるリスクの経済分析～国際経済学の視点から～」

プログラム：

Session 1 Chair: Kensuke Teshima (Hitotsubashi University)

10:00-10:50 Junichi Yamasaki (Kobe University) “Railroads, Technology Adoption, and Modern Economic Development: Evidence from Japan.”

Discussant: Eiichi Tomiura (Hitotsubashi University)

11:00-11:50 Daiki Kishishita (University of Tokyo) “Tax Competition and Political Agency Problems.”

Discussant: Jay Pil Choi (Michigan State University)

12:00-12:50 Haitao Cheng (Hitotsubashi University) “Environmental Tax Harmonization in Global Value Chains.”

Discussant: Morihiko Yomogida (Sophia University)

Session 2 Chair: Taiji Furusawa (University of Tokyo)

14:20-15:10 Xiaonan Sun (Asian Growth Research Institute) “Productivity, Market Penetration and Allocation of Sales.”

Discussant: Kensuke Teshima (Hitotsubashi University)

15:20-16:10 Yuting Chen (Singapore Management University) “Heterogeneous Firms in Trade: Quality Matters.”

Discussant: Yoichi Sugita (Hitotsubashi University)

Session 3 Chair: Jota Ishikawa (Hitotsubashi University)

16:25-17:15 Daisuke Adachi (Yale University) “Offshoring, Value Chains, and Home Labor Markets: Evidence from Japanese Firms Hit by the 2011 Thailand Floods.”

Discussant: Kentaro Nakajima (Hitotsubashi University)

17:25-18:15 Yoko Sakamoto (University of Wisconsin Madison) “Product Life-Cycle and Geography of Innovation.”

Discussant: Shota Fujishima (Tokyo University of Science)

(4) 若手研究者育成支援事業 (第3回 金融ジュニア・ワークショップ) お知らせ

東京経済研究センター (TCER) では、金融・ファイナンス分野を専攻する若手研究者を対象とした「第3回金融ジュニア・ワークショップ」を以下のとおり開催いたします。本ジュニア・ワークショップは、大学院生および若手教員・研究員 (大学院修了から3年以内) に現在行っている研究内容を報告してもらい、それにシニアの教員がコメントを行う形式のワークショップです。本ジュニア・ワークショップでは、そのような若手研究者にシニアの研究者が建設的なコメントやアドバイスをすることを通じて、日本の金融・ファイナンス研究の将来を担う若手研究者を育成することを目的としています。なお、報告の申込は2019年2月8日 (金) に締め切りました。

開催日 : 2019年3月20日 (水)

会場 : 一橋大学国立キャンパス (東キャンパス、マーキュリータワー)

対象 : 大学院生および若手教員・研究員 (大学院修了から3年以内)

主催 : 東京経済研究センター (TCER)、一橋大学大学院 経営管理研究科・経済学研究科、経済研究所

プログラム委員 : 祝迫得夫*・植杉威一郎・大橋和彦・小川英治・加納隆・熊本方雄*・塩路悦朗・安田行宏* (すべて一橋大学、*は実行委員を兼任)

プログラム

セッション1 10:30-12:00

フォーマット : 一発表30分 (発表15分~20分、討論者無し、Q&A10分~15分)

張思語 (明治学院大学)

Unconventional Monetary Policy and a Financial Intermediary: Were They Relevant to Fluctuations in the Japanese Economy?

李環 (一橋大学)

Durable Consumption Risk, Stock Market Returns and the Japanese Business Cycle

本田朋史 (一橋大学)

The effect of credit lines on Cash holdings and Investment: Evidence from Japan

12:00-13:15 ランチ

セッション2 13:15-15:15

フォーマット : 一発表40分 (発表25分、討論者8分、Q&A7分)

服部孝洋 (財務総合政策研究所) Do Liquidity Enhancement Auctions improve the Market Liquidity in the JGB Market? (宇野淳、早稲田大学)

仁智諾布 (東京大学) Housing Prices, Inflation, and Unconventional Monetary Policy (戸

村肇、早稲田大学)

猪野明生 (東京財団政策研究所) The Aggregate Implication of Mergers and Acquisitions in the Banking Sector (植杉威一郎、一橋大学)

15:15-16:00 コーヒー・ブレイク

セッション3 16:00-17:20

フォーマット：一発表40分 (発表25分、討論者8分、Q&A7分)

蔡越 (早稲田大学) Uncertainty in Bank Credit Availability: Evidence from Japanese Firms and the 2008 Financial Crisis (鶴田大輔、日本大学)

湯浅史朗 (一橋大学) Storage Cost and Birth of Rational Bubble (池田大輔、日本銀行)

(5) TCER 定例研究会 (2018 年度 TCER 研究会) 報告

2018 年度の TCER 研究会は一橋大学にて行われ、今年度後半の開催は以下の通りでした。なお、TCER 定例研究会にはフェローの方はいつでも参加できます。

第33回 9月18日 (火) 17:10~18:40

嶺山友秀 (日本銀行)

Downward Nominal Wage Rigidity and Inflation Dynamics during and after the Great Recession

第34回 9月20日 (木) 17:10~18:40

岡田 章 (京都大学)

A Non-cooperative Bargaining Theory with Incomplete Information: Unverifiable Type

第35回 9月27日 (木) 17:10~18:40

国際交流セミナー/HIAS セミナー共催

Hendrik Rommeswinkel (National Taiwan University)

Measuring Freedom in Games

第36回 9月27日 (木) 17:15~18:45

Arman Eshraghi (カーディフ大学)

Transparency and Investment Decisions: Evidence from the Disposition Effect

第37回 10月4日 (木) 17:15~18:45

熊本方雄 (一橋大学)

Bond Market Integration and Determinants of Government Bond Spreads in Asian Countries

第38回 10月9日 (火) 17:10~18:40

Yuta Takahashi (一橋大学)

Downward Nominal Wage Rigidity: A Historical Evidence from Japan

第 39 回 10 月 16 日 (火) 17 : 10~18 : 40

盛本圭一 (明星大学)

Tax Evasion and Optimal Corporate Income Tax Rate in a Growing Economy (with Takeo Hori and Noritaka Maebayashi)

第 40 回 10 月 18 日 (木) 17 : 10~18 : 40

河瀬康志 (東京工業大学)

制約付き安定マッチング問題に対する近似アルゴリズム

第 41 回 10 月 25 日 (木) 17 : 15~18 : 45

中川秀敏 (一橋大学)

バーゼル III 適格 Additional Tier1 債券(AT1 債)に対する構造型プライシングモデルの改良と実証分析(杉山泰平氏との共同研究)

第 42 回 10 月 23 日 (火) 17 : 10~18 : 40

経済統計ワークショップ・国際交流セミナー共催

Yacine Ait-Sahalia (Princeton University)

Implied Stochastic Volatility Models

第 43 回 10 月 30 日 (火) 17 : 10~18 : 40

James Morley (University of Sydney)

Why Has the U.S. Economy Stagnated since the Great Recession?

第 44 回 11 月 6 日 (火) 17 : 10~18 : 40

Kanda Naknoi (University of Connecticut)

Why Are Exchange Rates So Smooth? A Household Finance Explanation

第 45 回 11 月 8 日 (木) 17 : 15~18 : 45

小川俊明 (日本銀行)

Liquidity Management of Heterogeneous Banks during the Great Recession

第 46 回 11 月 15 日 (木) 17 : 10~18 : 40

Shmuel Nitzan (Professor at Bar Ilan University / Adjunct Professor at Hitotsubashi University)

Conditioning Sovereign Debt Relief on Democratization

第 47 回 11 月 20 日 (火) 17 : 10~18 : 40

Pablo Kurlat (Stanford University)

How I Learned to Stop Worrying and Love Fire Sales

第 48 回 11 月 22 日 (木) 17 : 15~18 : 45

林康史・歌代哲也 (立正大学)

アーヴィング・フィッシャーのスタンプ紙幣 (補完通貨) の意義

第 49 回 11 月 27 日 (火) 17 : 10~18 : 40

平野智裕 (東京大学)

The Wobbly Economy (joint with Joseph E. Stiglitz)

第 50 回 12 月 6 日 (木) 17 : 15~18 : 45

Jim Wilcox (UC Berkeley)

Internal and External Lending by Nonfinancial Businesses during Crises and During Other Times¹

第 51 12 月 11 日 (火) 17 : 10~18 : 40

楡井誠 (東京大学)

Inflation Level and Volatility Revisited

第 52 12 月 18 日 (火) 17 : 10~18 : 40

藤井大輔 (東京大学)

International Trade Dynamics with Sunk Costs and Productivity Shocks

第 53 12 月 20 日 (木) 17 : 10~18 : 40

渡邊直樹 (慶応義塾大学)

Farsighted Stability in a Patent Licensing Game: An Abstract Game Approach (joint with 平井俊行 and 武藤滋夫)

第 54 1 月 10 (木) 17 : 10~18 : 40

国際交流セミナー共催

Jingyi Xue (Singapore Management University)

Preferences with Changing Ambiguity Aversion

第 55 1 月 11 日 (金) 17 : 10~18 : 40

村山 光太 (Northwestern University)

Social Value of Information in Networked Economies

第 56 2 月 7 日 (木) 17 : 10~18 : 40

花蘭誠 (名古屋大学)

Market Structure and Price Dispersion: Asymmetric Oligopoly with Sequential Consumer Search (with 工藤教孝)

第 57 回 2 月 20 日 (火) 17 : 10~18 : 40

Offer Setty (Tel Aviv University)

On the Provision of Unemployment Insurance when Workers are ex-ante Heterogeneous (joint with Avihai Lifschitz and Yaniv Yedid-Levi)

第 58 回 3 月 5 日 (火) 17 : 10~18 : 40

HIAS セミナー共催

Larry Epstein (Boston University)

Hard-to-Interpret Signals (coauthored with Yoram Halevy)

編集後記

桜のつぼみも膨らんで春の訪れを告げていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。2018 年度 2 号目のニューズレターをお送りいたします。お忙しい中、執筆下さった理事やコンファレンス主催者の方々に感謝申し上げます。来年度も TCER をどうぞよろしくお願いいたします。

Newsletter に関するご意見やご感想は代表理事 小川英治 eiji.ogawa@r.hit-u.ac.jp
または総務理事 原 ひろみ harahiromi@fc.jwu.ac.jp までご連絡下さい。

=====
公益財団法人 東京経済研究センター
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-7-10 山京ビル本館 703 号室
Tel & Fax 03-3239-2524 Email: tcer@mbs.sphere.ne.jp